児童虐待ゼロを訴え快走

鎌倉を起点にオレンジリボンたすきリレー

11月の児童虐待防止推進月間に向けて、「オレンジリボンたすき実現」を目指す市民運動「オレンジリボンたすきリレー」が10月30日、高徳院・鎌倉大仏を発着点に行われ、松尾崇鎌倉市長ら20人ほどがスタートした。

オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動で、05年から始められた。リレーは首都圏では5回目で、鎌倉・三浦コースが今回初めて加わった。二宮、渋谷のスタートとともにランナーがたすきをつなぎ、ゴールの横浜山下公園を目指す。事務局の子どもの虹情報研修センター・小林美智子センター長は「児童相談は昨年5万件を超え、虐待で亡くなるケースも年間百件以上ある。この運動が全国に広がることを願っている」と話していた。

今回初めて鎌倉・三浦コースが加わった「オレンジリボンたすきリレー」

LED万華鏡作りも

「モノづくり展」に市内25社出展

「わぁー、虹の色だ！」赤、青、緑、紫など鮮やかな色を放ちながら、オルゴールで回転する万華鏡。10月下旬、鎌倉商工会議所で行われた「鎌倉・モノづくり展2011」で、LED（発光ダイオード）を使った万華鏡作りがあり、小学生40人が親子で参加した。

モノづくり展は、地元の企業がどんな製品をつくっているか広く地域に紹介し、企業相互の交流を図るため、同会議所工業部会が昨年から始め、2回目。鎌倉市内25の事業所が出展していた。

照明器具、草刈り機の部品、洗濯機やトイレ用の消臭、太陽光発電の製品をはじめ、化粧品、温泉水、ハムやカレールーなどの製品やパネル展示があった。

来場者は係員の説明を聞きながら、サンプル品の配布を受けたりした。

加藤清和部会長は「この機会に地元の製品に親しんでもらえれば、うれしい」と話していた。

真剣に万華鏡作りに取り組む小学生たち

コスモスやバラ

菊花大会が盛会

大船フラワーセンター

県立フラワーセンター大船植物園で10月29、30の両日、フラワーフェスティバルが行われた。秋バラが咲き香り、コスモスやハゲイトウの花が見ごろだった。

第49回神奈川県菊花大会では県下22の菊花会から約8百点が展示された。懸崖、七本立、古典三菊などがみごとに咲きそろい、来場者は花の育て方や審査の基準などの説明を受けた＝写真。

横浜菊花会の松島恒雄会長は「審査当日にちょうど満開になるように育てるのが大変」と話していた。

ひと

護良親王の坐像を2年がかりで制作

奥西希生さん

鎌倉で生まれ育った。32歳。毎年秋に境内で催される薪能で有名な鎌倉宮に祀る護良親王の座像を約2年かけて制作した。

親王は後醍醐天皇の皇子で、1335年、28歳で暗殺された。鎌倉宮は明治天皇が1869年、建武の中興に尽くしながら非業の死を遂げた親王の霊を弔うため旧東光寺跡に造った。由緒ある神社本殿に祀る像の制作が決まった時、「若い身に大変な仕事。身が引きしまった」と振り返る。

祖母が長い伝統を誇る美術工芸品・鎌倉彫の作家で、現在の西蘭会の創始者。母の雅知さん（68）が2代目、姉の絹風さん（39）が近く3代目を継ぐ。父の賀男さん（66）も画家。芸術家一家に育ち、幼い頃からノミやカンナなどの工具に触れた。彫刻家を目指し、鎌倉学園高を卒業後、東京芸大を受験。三浪の末、60倍の狭き門を突破して合格した。努力家である。

鎌倉宮の船橋信彌宮司（66）は、賀男さんと知り合いで、希生さんの彫刻に取り組む姿を見守ってきた。「生きているかに見えるワシなど、作品に深みと重量感を感じた。早くから制作者として頭にあった」と抜擢の理由を語る。

像を彫るクスノキは樹齢120年余、09年春に枯れだした。樹木医が診断、手当てしたが再生の見込みはなく、伐られた。制作が決まり、木の乾燥作業や親王の人物像、当時の衣装などの研究を始めた。一方で、伐られた木の幹に朝昼晩と3回水をかけた。「若い芽が出てほしかった」。3か月後、4本の芽が出た。

10㌢ぐらいに伸びたが、枯れた。直後、髪を切り坊主頭にした。「木への感謝の気持ちが足りなかったと反省した」と優しい心根をのぞかせた。

漆を塗り濃い茶色の像は高さ、奥行き50㌢、横60㌢。親王が首を下に向け、物思いにふけるように座っている姿。武芸にたけていたとされる絵や資料を参考にイメージを膨らませてつくった。

木の乾燥期間が短いなど苦労したが「誠心誠意、心を込めた。持てる力を十分発揮できた」と満足そう。船橋宮司も「慈愛に満ちた作品。親王像にふさわしい」と高く評価する。

像は12月23日夕、完成報告などの儀式を経て、京都産ヒノキで完成した本殿の御霊舎に祀られる。この間、僅かだが、像を見られる。今後公開される予定はない。

市内二階堂在住。独身。趣味は「家族と同じ、仕事が趣味です」ときっぱり。尊敬する人は「幕末から明治にかけて活躍した金工の正阿弥勝義」と答えた。「立身出世を望まないなど理想的な生き方に共感する」。

文・写真　洞口和夫

皿の中で文化交流を

ニースの日本人シェフが市長と対談

「かまくらの食の魅力」のシンポジウムが11月10日鎌倉市内のホテルで行われ、鎌倉の姉妹都市・フランスのニース市在住のミシュラン一つ星シェフ松嶋啓介さん（33）が松尾崇鎌倉市長と対談した＝写真。

鎌倉市が観光振興のために行った催しで、松嶋シェフの料理のデモンストレーション、コース料理の会食もあり、市民など約百人が参加した。

対談で松嶋さんはニースに店を開いたのは「太陽が導いてくれた」と語り、市場によい食材が豊富だったことをあげた。そして「鎌倉に市場があるのはすばらしい」とその利点に触れた。

ニースのレストランでは、日本の包丁の技術「切る」ことを大事にしながら、食べ終わったときにその土地が感じられるように、「皿の中で文化交流」させていると話していた。

松尾市長は「官民が連携して鎌倉の食の魅力を発信していきたい」と述べた。

料理は、野菜をアンチョビのソースであえたサラダとジャガイモのニョッキを、調理のコツなどの説明をまじえながら作り、そのあとの会食も好評だった。

クイズや緑の相談コーナー

「緑化まつり」で庭園展示も

第23回鎌倉市緑化まつりが11月5日、鎌倉海浜公園由比ガ浜地区と鶴岡八幡宮で開かれた。

由比ガ浜地区ではリースづくりやきこり体験などあり、緑にちなんだクイズ大会では全問正解者に鉢植えが当たった。緑のレンジャーなどの団体の活動を紹介するパネル展示や緑の相談コーナー、ミニトレインの運行もあった。今年はフリーマーケットがでて、26の出店者が衣料品や雑貨などを販売した＝写真。

八幡宮会場では、10月中旬から1カ月ほど鎌倉造園界の庭園展示が行われ、多くの見物客が庭園の美にふれた。

◆商工業功労の表彰

鎌倉商工会議所は商工業の功労者らの表彰を11月17日に行った。（敬称略）

▼産業功労＝高野彌生（鎌倉ニュージャーマン）鈴木康三（鈴木建築設計事務所）澁木清二（鎌倉ハム富岡商会）高木哲也（湘南科学）栗山英世（栗山社会保険労務士事務所）浅場智彦（せいた）▼婦人貢献＝角田圭子（角田組）亀ヶ谷美代子（山海堂商店）宮木曜子（きもの蔵人みやもと）

▼小売店会頭賞＝鬼頭天薫堂、MARIA CAFE、ビストロ・ル・ポワンウエスト、鎌倉ブルースリー、ピエニ・クローネ、Dining Goods HISANO、手づくり弁当ハニー

▼同奨励賞＝はま善、レストラン「パラッツオ・ヴィオラ」

▼従業員＝27事業所51人

東慶寺の体験教室
自分さがしと自分みがきに
早朝座禅会
写経会
茶道体験
香道体験
挿し花体験
東慶寺
詳しくはホームページをご覧下さい
WWW.tokeiji.com
お問合せ、申込みは東慶寺まで
0467-22-1663

ゆみ中医漢方クリニック
漢方婦人科・漢方皮膚科
漢方思春期婦人科
漢方不妊治療婦人科
逗子市小坪1－18－4
TEL／0467-22-9184
http://www5e.biglobe.ne.jp/~yumicyui/
診療時間
午前：　9:00～11:30（火～土）
午後：14:00～16:30（火・木・土）
予約制・各種健保扱・自費診療有

訪問診療・往診
(S医)湘南友和会
さとうクリニック
認知症対応　在宅リハビリ
在宅医療処置　癌末期管理
在宅看取り　緊急時病院連携
〒247-0061 鎌倉市台5-8-29
TEL 0467-43-5220

漢方診療
外科・内科
●診療時間　午前 9:00～12:00
午後 15:00～18:00
●休　診　日曜・木曜・祝日
水曜午後（定期往診）
鎌倉・常盤の
田中医院
院長 田中迪夫
鎌倉市常盤648 ☎0467(32)1315

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話(0467)25-2100(代表)